

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-24 鎌倉芸術館管理運営事業 □支援部門								
主管課	文化人権推進課(鎌倉芸術館担当) 関連課								
分野名	文化								
目標 (目標値)	鎌倉市の芸術文化の振興、創造発展の拠点として確立する。 鎌倉芸術館の施設利用率85%、利用者年間数600,000人、開館日数333日								
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状況	決算値(千円)	316,469	323,366	369,729					
	(国・県)			7,520					
	(負担金等)		5,544	5,580					
	(一般財源)	316,469	317,822	356,629					
	人員配置数	2.0	2.0	2.0					
	人件費(千円)	16,855	16,737	17,207					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	333,324	340,103	386,936					
	市民1人当 りの経費(円)	1,881	1,920	2,190					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体との 比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	藤沢市		
	利用率(%)	88.1%	66.2%(大H)	73.8%(大H)	65.4%(大H)	85.4%(大小)	84.7%(大H)		
	利用者数(人)	517,507	252,403	183,856	145,942	132,696	391,431		
	開館日数(日)	332	305(大H)	275(大H)	272(大H)	155(大H)	295(大H)		
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
施設利用率(目標85%)	◎	目標値	85%	85%	85%	85%	85%		
		実績値	89%	89%	88.1%				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
鎌倉芸術館管理運営事業	316.469千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A ■B □C □D □E	
	事業の概要	施設の管理運営業務を指定管理者へ委託する他、芸術館用地の賃借などの業務を行う。芸術館の舞台、照明設備及び空調設備等について、予防保全等のための修繕を実施する。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	・東北大震災の発生による施設利用等の落ち込みによる集客率の低下の改善を指定管理者に促す。また、開館当初からの施設の修繕が必要となっている。
課題解決のための取組	・自主公演事業の実施にあたり、情報誌の発行と広報がまぐらの活用により、情報提供の発信が途切れないうに工夫を凝らし、東北大震災後の集客の落ち込みを徐々に回復させている。また、計画的に老朽化する施設等の修繕を行った。
未解決の課題	・長期的展望に立った修繕の全貌を把握する修繕計画を作成する必要がある。 ・厳しい財政事情の中、利用状況等を勘案し備品修繕等の対応について検討する必要がある。 ・公正性・公平性を高めるため、学識経験者など外部の委員による評価制度について検討する必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ・長期的展望に立った修繕の全貌を把握した上で、計画的に修繕を進めていく。 ・地域の優れた芸術文化の創造・発信の場として、外部評価制度の導入も踏まえ、さらに有効かつ効率的な運営に努めていく。	※□事業完了	
		②妥当性 ○			↓	課長等名
		③有効性 ○			B	文化人権推進課長
		④公平性 ○				青山 陽子

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
鎌倉芸術館管理運営事業	主な個別事業	469 事務補助嘱託員報酬	2,057	2,056	■適切	□見直し余地あり
		469 事務補助嘱託員費用弁償	124	75	■適切	□見直し余地あり
		469 ホール照明周り等修繕	33,000	32,460	■適切	□見直し余地あり
		915 ボイラ等修繕	13,252	13,252	■適切	□見直し余地あり
		469 音響備品修繕	215	213	■適切	□見直し余地あり
		469 電信料	463	463	■適切	□見直し余地あり
		469 指定管理料	199,800	199,800	■適切	□見直し余地あり
		469 芸術館用地賃借料	43,260	43,260	■適切	□見直し余地あり
		469 電子計算機材等賃借料	6,192	6,192	■適切	□見直し余地あり
		915 ホール音響備品購入	4,000	3,444	■適切	□見直し余地あり
		469 芸術館施設利用料等減免負担金	12,000	12,913	■適切	□見直し余地あり
		469 指定管理業務に係るリスク分担保負担金	0	1,757	■適切	□見直し余地あり
			主な個別事業			
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり